

甲南大学アセスメントプラン マトリックス<学士課程>

分野		I 学生受入れの方針 (AP) 入学試験・学生募集	II 教育課程編成・実施の方針 (CP) 教育・学修・学生生活	III 卒業認定・学位授与の方針 (DP) 学修成果
自己点検・評価の観点		<p>①入学試験の状況確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・APに沿った入試が実施できているか <p>②学生募集・入学志願者の状況確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・APに沿った学生が志願・入学しているか <p>③入学後の学修・活動状況確認 [追跡]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・APに掲げる能力が入学後に発揮できているか 	<p>④教育課程の編成・実施の状況及び成果確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育方針に沿って編成・実施されているか ・学生がCPに沿った能力を身に付けられているか ・第三者の視点が適切に取入れられているか <p>⑤学修及び学生生活の状況確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生が適切に学修・学生生活を進めているか ・学生の学修・学生生活条件は適切か <p>⑥教育・学修及び学生生活の環境に関する状況確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業や学生生活の適切な環境が整備されているか ・学生の視点が適切に取入れられているか 	<p>⑦学修の達成度の状況及びDPの適合性確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生がDPに沿った能力を身に付けられたか ・第三者の視点が適切に取入れられているか <p>⑧卒業生の満足状況確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生が学びや学生生活に満足しているか <p>⑨卒業後の進路状況確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生が卒業後の進路を得られているか ・卒業後に学修成果を発揮できているか
評価指標	A マクロレベル (大学全体レベル)	入学試験結果 入学試験問題 オープンキャンパス参加率 志願者・入学者学力分布 入学前教育 ジェネリックスキル測定 (1年次) ジェネリックスキル測定アンケート (1年次) プレイメントテスト (1年次) 学修度 [追跡] ジェネリックスキル測定 (1~3年次の変化) [追跡] KONANサーティフィケートエントリー数 [追跡] 課外活動参加率 [追跡]	学修度 授業改善アンケート (成長実感) 全国学生調査 (成長実感) ジェネリックスキル測定 (1~3年次の変化) 三大学相互評価結果 (教育の専門的見地) 地域社会からの評価・意見 成績分布 修得単位数 学習時間 在籍状況 (退学率) KONANサーティフィケートエントリー数 留学生数 (送り出し) 課外活動参加率 ST比 授業規模 学生調査 (学生生活充実度) 学生団体の意見・要望	学修度 卒業率 成績分布 卒業時アンケート (成長した力) 全国学生調査 (成長実感) 資格取得者数 副専攻登録者数・修了者数 ディプロマ・サブリエメントの記載事項数 KONANサーティフィケート認定者数 教学アドバイザー・ボードの評価・意見 卒業時アンケート (総合・各種満足度) 実就職率 大学院進学率 卒業生調査 企業アンケート
	B ミドルレベル (学位プログラムレベル)	入学試験結果 オープンキャンパス参加率 志願者・入学者学力分布 入学前教育 ジェネリックスキル測定 (1年次) ジェネリックスキル測定アンケート (1年次) 学修度 [追跡] ジェネリックスキル測定 (1~3年次の変化) [追跡]	学修度 授業改善アンケート (成長実感) 全国学生調査 (成長実感) ジェネリックスキル測定 (1~3年次の変化) 成績分布 修得単位数 学習時間 在籍状況 (退学率) 授業規模 学生調査 (学生生活充実度)	学修度 卒業論文、ゼミ (対象学部のみ) 卒業率 成績分布 卒業時アンケート (成長した力) KONANサーティフィケート認定者数 卒業時アンケート (各種満足度) 実就職率 大学院進学率
	C ミクロレベル (授業科目レベル)		授業改善アンケート 成績分布 出席状況 プレイメントテスト (1年次)	

甲南大学アセスメントプラン 運用総括表<学士課程>

(別表2)
令和8年4月9日

分野	自己点検・評価の観点	自己点検・評価の評価指標		レベル	実施組織	対象学年等	周期	自己点検・評価の基準	自己点検・評価活動及び改善活動における活用方法
I 学生 入学 試験 の 方針 (A P)	①入学試験の状況確認 (APIに沿った入試が実施できているか)	①-1-A	入学試験結果	マクロ	執行部、入試制度検討委員会	入学前	年1回	APの適合性、 入学者選抜機能の妥当性	入試制度別志願者数・得点分布・歩留まりの状況及び実施組織の点検・評価結果から、各入試制度のAP適合性、入学者選抜機能の妥当性を点検・評価し、全学的な入試方針、入試制度、判定基準等の見直しに活用する。
		①-1-B	入学試験結果	ミドル	各学部・学環	入学前	年1回	APの適合性、 入学者選抜機能の妥当性	実施組織における入試制度別志願者数・得点分布・歩留まりの状況から、各入試制度のAP適合性、入学者選抜機能の妥当性を点検・評価し、各々の入試制度、判定基準等の見直しに活用する。
		①-2-A	入学試験問題	マクロ	執行部、入試制度検討委員会	入学前	年1回	APの適合性、 入学者選抜機能の妥当性	各入学試験問題における得点分布、正答率等の状況から、入学試験問題のAP適合性、入学者選抜機能の妥当性を点検・評価し、全学的な入試方針、入学試験問題の見直しに活用する。
	②学生募集・入学志願者の状況確認 (APIに沿った学生が志願・入学しているか)	②-1-A	オープンキャンパス参加率	マクロ	アドミッションセンター	入学前	年1回	学生募集活動の有効性	入学者のオープンキャンパス参加率及び実施組織の点検・評価結果から、学生募集活動の有効性を点検・評価し、全学的な入試方針、学生募集活動の見直しに活用する。
		②-1-B	オープンキャンパス参加率	ミドル	各学部・学環	入学前	年1回	学生募集活動の有効性	実施組織における入学者のオープンキャンパス参加率から、学生募集活動の有効性を点検・評価し、各々の学生募集活動の見直しに活用する。
		②-2-A	志願者・入学者学力分布	マクロ	執行部、入試制度検討委員会	入学前	年1回	志願者・入学者の学力レベルの状況	志願者・入学者の進路区別学力分布の状況及び実施組織の点検・評価結果から、志願者・入学者の学力レベルの状況を点検・評価し、全学的な入試方針、入試制度、判定基準等の見直しに活用する。
		②-2-B	志願者・入学者学力分布	ミドル	各学部・学環	入学前	年1回	志願者・入学者の学力レベルの状況	実施組織における志願者・入学者の進路区別学力分布の状況から、各々の志願者・入学者の学力レベルの状況を点検・評価し、入試制度、判定基準等の見直しに活用する。
		②-3-A	入学前教育	マクロ	執行部、入試制度検討委員会	入学前	年1回	学修意欲・態度の状況	年内入試制度別の入学前教育受講状況及び実施組織の点検・評価結果から、入学予定者の学修意欲・態度の状況を点検・評価し、全学的な入試方針、入試制度、判定基準等の見直しに活用する。
		②-3-B	入学前教育	ミドル	各学部・学環	入学前	年1回	学修意欲・態度の状況	実施組織における年内入試制度別の入学前教育受講状況から、入学予定者の学修意欲・態度の状況を点検・評価し、各々の入試制度、判定基準等の見直しに活用する。
		②-4-A	ジェネリックスキル測定 (1年次)	マクロ	執行部、入試制度検討委員会	1年次	年1回	APの適合性	入試制度別入学者のジェネリックスキル測定結果から、入学者のAP適合性を間接的に点検・評価し、全学的な入試方針、入試制度、判定基準等の見直しに活用する。
		②-4-B	ジェネリックスキル測定 (1年次)	ミドル	各学部・学環	1年次	年1回	APの適合性	実施組織における入試制度別入学者のジェネリックスキル測定結果の結果から、入学者のAP適合性を間接的に点検・評価し、各々の入試制度、判定基準等の見直しに活用する。
		②-5-A	ジェネリックスキル測定アンケート (1年次)	マクロ	執行部、入試制度検討委員会、 アドミッションセンター	1年次	年1回	入学者の志望度の状況	入学志望度の状況(ジェネリックスキル測定アンケート結果)及び実施組織の点検・評価結果から、入試制度別入学者の志望度の状況を点検・評価し、全学的な入試方針、入試制度、学生募集活動の見直しに活用する。
②-5-B	ジェネリックスキル測定アンケート (1年次)	ミドル	各学部・学環	1年次	年1回	入学者の志望度の状況	入学志望度の状況(ジェネリックスキル測定アンケート結果)から、実施組織における入試制度別入学者の志望度の状況を点検・評価し、各々の入試制度及び学生募集活動の見直しに活用する。		
②-6-A	プレイズメントテスト (1年次)	マクロ	執行部、全学共通教育センター	1年次	年1回	入学者の語学力の状況	プレイズメントテストの結果から、入学者の語学力を間接的に点検・評価し、入試における外国語科目の見直しに活用する。		
③入学後の学修・活動状況確認 [追跡] (APIに掲げる能力が入学後に発揮できているか)	③-1-A	学修度 [追跡]	マクロ	執行部、入試制度検討委員会	3年次	年1回	APの適合性、 入学者選抜機能の妥当性	入試制度別入学者の3年次前期修了時点の学修度(修得単位数・成績)及び実施組織の点検・評価結果から、各入試制度のAP適合性、入学者選抜機能の妥当性を点検・評価し、全学的な入試方針、入試制度、判定基準等の見直しに活用する。	
	③-1-B	学修度 [追跡]	ミドル	各学部・学環	3年次	年1回	APの適合性、 入学者選抜機能の妥当性	実施組織における入試制度別入学者の3年次前期修了時点の学修度(修得単位数・成績)から、各入試制度のAP適合性、入学者選抜機能の妥当性を点検・評価し、各々の入試制度、判定基準等の見直しに活用する。	
	③-2-A	ジェネリックスキル測定 (1~3年次の変化) [追跡]	マクロ	執行部、入試制度検討委員会	1・3年次	年1回	APの適合性、 入学者選抜機能の妥当性	入試制度別入学者のジェネリックスキル測定結果(1~3年次の変化)及び実施組織の点検・評価結果から、各入試制度のAP適合性、入学者選抜機能の妥当性を間接的に点検・評価し、全学的な入試方針、入試制度、判定基準等の見直しに活用する。	
	③-2-B	ジェネリックスキル測定 (1~3年次の変化) [追跡]	ミドル	各学部・学環	1・3年次	年1回	APの適合性、 入学者選抜機能の妥当性	実施組織における入試制度別入学者のジェネリックスキル測定結果(1~3年次の変化)から、各入試制度のAP適合性、入学者選抜機能の間接的に妥当性を点検・評価し、各々の入試制度、判定基準等の見直しに活用する。	
	③-3-A	KONANサーティフィケートエントリー数 [追跡]	マクロ	執行部、入試制度検討委員会	3年次	年1回	APの適合性	学校推薦型・総合型選抜における入試制度別入学者の3年次前期修了時点のKONANサーティフィケートエントリー数から、各入試制度のAP適合性、入学者選抜機能の妥当性を点検・評価し、全学的な入試方針、入試制度、判定基準等の見直しに活用する。	
	③-4-A	課外活動参加率 [追跡]	マクロ	執行部、入試制度検討委員会	3年次	年1回	APの適合性	学校推薦型・総合型選抜における入試制度別入学者の3年次前期修了時点の課外活動参加率から、各入試制度のAP適合性、入学者選抜機能の妥当性を点検・評価し、全学的な入試方針、入試制度、判定基準等の見直しに活用する。	

甲南大学アセスメントプラン 運用総括表 < 学士課程 >

(別表2)
令和8年4月9日

分野	自己点検・評価の観点	自己点検・評価の評価指標		レベル	実施組織	対象学年等	周期	自己点検・評価の基準	自己点検・評価活動及び改善活動における活用方法
II 教育課程編成・学修・学生生活(CP)	④教育課程の編成・実施の状況及び成果確認 教育方針に沿って編成・実施されているか 学生がCPに沿った能力を身に付けられているか 第三者の視点が適切に取入れられているか	④-1-A	学修度	マクロ	執行部、教務部、学長室	各年次	年2回	CPの適合性	在学生の年次別学修度伸張状況及び実施組織の点検・評価結果から、CPの適合性を点検・評価し、教育に関する各種方針の見直しに活用する。
		④-1-B	学修度	ミドル	各学部・学環、 全学共通教育センター	各年次	年2回	CPの適合性、カリキュラム編成の適切性、成績判定の妥当性	実施組織における在学生の年次別学修度伸張状況から、CPの適合性、カリキュラム編成の適切性、成績判定の妥当性等を点検・評価し、各々のカリキュラム、到達目標、カリキュラムマップ・ツリー、成績判定基準等の見直しに活用する。
		④-2-A	授業改善アンケート(成長実感)	マクロ	執行部、教務部、学長室	各年次	年2回	CPの適合性	在学生の到達目標ごとの年次別成長実感の状況(授業改善アンケート結果)及び実施組織の点検・評価結果から、CPの適合性を点検・評価し、教育に関する各種方針の見直しに活用する。
		④-2-B	授業改善アンケート(成長実感)	ミドル	各学部・学環、 全学共通教育センター	各年次	年2回	CPの適合性、カリキュラム編成の適切性	実施組織における在学生の到達目標ごとの年次別成長実感の状況(授業改善アンケート結果)から、CPの適合性、カリキュラム編成の適切性を点検・評価し、各々のカリキュラム、到達目標、カリキュラムマップ・ツリーの見直しに活用する。
		④-2-C	授業改善アンケート	ミクロ	各学部・学環、 全学共通教育センター各所属教員	各年次	年2回	CPの適合性、カリキュラムマップの適合性	実施組織開講科目における到達目標ごとの授業改善アンケート結果から、CP及びカリキュラムマップの適合性を点検・評価し、カリキュラムマップ(到達目標との関連性)、シラバスの見直しに活用する。
		④-3-A	全国学生調査(成長実感)	マクロ	執行部、教務部、学長室	各年次	年2回	CPの適合性、カリキュラム編成の適切性	在学生の到達目標ごとの年次別成長実感の状況(全国学生調査結果)及び実施組織の点検・評価結果から、CPの適合性を点検・評価し、教育に関する各種方針の見直しに活用する。
		④-3-B	全国学生調査(成長実感)	ミドル	各学部・学環、 全学共通教育センター	各年次	年2回	CPの適合性、カリキュラムマップの適合性	実施組織における在学生の到達目標ごとの年次別成長実感の状況(全国学生調査結果)から、CPの適合性、カリキュラム編成の適切性を点検・評価し、各々のカリキュラム、到達目標、カリキュラムマップ・ツリーの見直しに活用する。
		④-4-A	ジェネリックスキル測定(1~3年次の変化)	マクロ	執行部、教務部、学長室	1・3年次	年1回	CPの適合性	ジェネリックスキル測定結果(1~3年次の変化)及び実施組織の点検・評価結果から、学修成果の状況を間接的に点検・評価し、教育に関する各種方針の見直しに活用する。
		④-4-B	ジェネリックスキル測定(1~3年次の変化)	ミドル	各学部・学環、 全学共通教育センター	1・3年次	年1回	CPの適合性	実施組織におけるジェネリックスキル測定結果(1~3年次の変化)から、学修成果の状況を間接的に点検・評価し、各々のカリキュラム、教育内容の見直しに活用する。
		④-5-A	三大学相互評価結果(教育の専門的見地)	マクロ	執行部、学長室	-	7年3回	教育の質保証の状況	成城大学・武蔵大学との三大学相互評価結果から、教育の質保証の状況を点検・評価し、教育の質向上に関する仕組み、取組の見直しを活用する。
	④-6-A	地域社会からの評価・意見	マクロ	執行部、社会連携機構、学長室	-	年1回	社会貢献の状況	地域社会からの評価・意見から、大学の社会貢献の状況を点検・評価し、教育、研究、社会連携に関する方針・施策の見直しに活用する。	
	⑤学修及び学生生活の状況確認 学生が適切に学修・学生生活を進めているか 学生の学修・学生生活条件は適切か	⑤-1-A	成績分布	マクロ	執行部、教務部	各年次	年2回	カリキュラム編成の適切性、成績判定の妥当性	在学生の年次別成績分布の状況及び実施組織の点検・評価結果から、カリキュラム編成の適切性、成績判定の妥当性を点検・評価し、教育に関する各種方針の見直しに活用する。
		⑤-1-B	成績分布	ミドル	各学部・学環、 全学共通教育センター	各年次	年2回	カリキュラム編成の適切性、成績判定の妥当性	実施組織における在学生の年次別成績分布の状況及び各科目の点検・評価結果から、カリキュラム編成の適切性、成績判定の妥当性を点検・評価し、各々のカリキュラム、成績判定基準の見直しに活用する。
		⑤-1-C	成績分布	ミクロ	各学部・学環、 全学共通教育センター各所属教員	各年次	年2回	シラバス・成績判定の妥当性	実施組織開講科目における成績分布の状況から、成績判定の適切性を点検・評価し、シラバス、成績判定基準・方法等の見直しに活用する。
		⑤-2-A	修得単位数	マクロ	執行部、教務部	各年次	年1回	単位修得状況の適切性	在学生の年次別修得単位数及び実施組織の点検・評価結果から、単位修得状況の適切性を点検・評価し、教育に関する各種方針の見直しに活用する。
		⑤-2-B	修得単位数	ミドル	各学部・学環、 全学共通教育センター	各年次	年1回	単位修得状況の適切性	実施組織における在学生の年次別修得単位数から、単位修得状況の適切性を点検・評価し、各々のカリキュラム、成績判定基準の見直しに活用する。
		⑤-3-A	学習時間	マクロ	執行部、教務部	各年次	年2回	学習時間の適切性	在学生の年次別学習時間の状況及び実施組織の点検・評価結果から、学習時間の適切性を点検・評価し、教育に関する各種方針の見直しに活用する。
		⑤-3-B	学習時間	ミドル	各学部・学環、 全学共通教育センター	各年次	年2回	学習時間の適切性	実施組織における在学生の年次別学習時間の状況から、学習時間の適切性を点検・評価し、教育内容(準備学習等)の見直しに活用する。
⑤-4-A		在籍状況(退学率)	マクロ	執行部、教務部	各年次	年1回	退学率の適切性	年次別退学率の状況及び実施組織の点検・評価結果から、退学率の適切性を点検・評価し、教育に関する各種方針の見直しに活用する。	
⑤-4-B		在籍状況(退学率)	ミドル	各学部・学環	各年次	年1回	退学率の適切性	実施組織における年次別退学率の状況から、退学率の適切性を点検・評価し、各々のカリキュラム、履修指導・支援方法等の見直しに活用する。	
⑤-5-C		出席状況	ミクロ	各学部・学環、 全学共通教育センター各所属教員	各年次	年2回	授業の内容・レベル等の適切性	各授業科目の出席状況から、授業の内容・レベル等の適切性を点検・評価し、シラバスの見直しに活用する。	
⑥教育・学修及び学生生活の環境に関する状況確認 授業や学生生活の適切な環境が整備されているか 学生の視点が適切に取入れられているか	⑥-6-C	プレイズメントテスト(1年次)	ミクロ	全学共通教育センター所属教員	1年次	年1回	入学者の語学力の状況	プレイズメントテストの結果から、入学者の語学力を間接的に点検・評価し、語学科目の内容及びレベルに見合ったクラス編成の見直しに活用する。	
	⑥-7-A	KONANサーティフィケートエントリー数	マクロ	執行部、教育学習支援センター	各年次	年1回	正課外教育の活性化度	年次別KONANサーティフィケートエントリー数から、正課外教育の活性化度を点検・評価し、正課外教育に関する方針・施策の見直しに活用する。	
	⑥-8-A	留学者数(送り出し)	マクロ	執行部、国際交流センター	各年次	年1回	正課外教育の活性化度	年次別留学者数(送り出し)から、正課外教育(グローバル教育)の活性化度を点検・評価し、正課外教育に関する方針・施策の見直しに活用する。	
	⑥-9-A	課外活動参加率	マクロ	執行部、学生支援機構	各年次	年1回	正課外教育の活性化度	年次別課外活動参加率から、正課外教育の活性化度を点検・評価し、正課外教育に関する方針・施策の見直しに活用する。	
	⑥-1-A	ST比	マクロ	執行部、教務部	各年次	年1回	教育・学修環境の適切性	年次別ST比(在籍学生数と基幹教員数の割合)の状況から、教育・学修環境の適切性を点検・評価し、教員編成、教育・学修環境に関する方針・施策の見直しに活用する。	
	⑥-2-A	授業規模	マクロ	執行部、教務部	各年次	年2回	教育・学修環境の適切性	年次別授業規模の状況及び実施組織の点検・評価結果から、教育・学修環境の適切性に関する状況を点検・評価し、教育・学修環境(の改善)に関する方針の見直しに活用する。	
	⑥-2-B	授業規模	ミドル	各学部・学環、 全学共通教育センター	各年次	年2回	教育・学修環境の適切性	実施組織開講科目における年次別授業規模の状況から、教育・学修環境の適切性に関する状況を点検・評価し、各々の開講科目の授業規模(教育・学修環境)の見直しに活用する。	
	⑥-3-A	学生調査(学生生活充実度)	マクロ	執行部、学生生活支援センター	各年次	年1回	学生生活の充実度	年次別学生調査結果及び実施組織の点検・評価結果から、学生生活の充実度を点検・評価し、学生生活の向上・環境整備に関する方針・施策の見直しに活用する。	
	⑥-3-B	学生調査(学生生活充実度)	ミドル	各学部・学環、 全学共通教育センター	各年次	年1回	学生生活の充実度	実施組織における年次別学生調査結果から、学生生活の充実度を点検・評価し、各々の学生生活の向上・環境整備に関する施策の見直しに活用する。	
⑥-4-A	学生団体の意見・要望	マクロ	執行部	各年次	年1回	教育、取組、環境の適切性	大学の教育、取組、環境に対する学生の意見・要望から、教育、取組、環境の適切性を点検・評価し、教育・学修・学生生活の向上・環境整備に関する方針・施策の見直しに活用する。		

甲南大学アセスメントプラン 運用総括表<学士課程>

(別表2)
令和8年4月9日

分野	自己点検・評価の観点	自己点検・評価の評価指標		レベル	実施組織	対象学年等	周期	自己点検・評価の基準	自己点検・評価活動及び改善活動における活用方法
Ⅲ 卒業認定・学位授与成果の方針（DP）	⑦学修の達成度の状況及びDPの適合性確認 〔学生がDPに沿った能力を身に付けられたか 第三者の視点が適切に取入れられているか〕	⑦-1-A	学修度	マクロ	執行部、教務部、学長室	卒業時 (4年次)	年1回	DPの適合性、 学修の達成度	卒業生の学修度（修得単位数・成績）の分布・平均値及び実施組織の点検・評価結果から、DPの適合性及び学修の達成度の状況を点検・評価し、教育に関する各種方針・施策の見直しに活用する。
		⑦-1-B	学修度	ミドル	各学部・学環、 全学共通教育センター	卒業時 (4年次)	年1回	DPの適合性、 学修の達成度	実施組織における卒業生の学修度（修得単位数・成績）の分布・平均値から、DPの適合性及び学修の達成度の状況を点検・評価し、各々のカリキュラム、教育内容の見直しに活用する。
		⑦-2-B	卒業論文、ゼミ（対象学部のみ）	ミドル	各学部・学環	卒業時 (4年次)	年1回	学修の達成度	実施組織における在籍者数に対する卒業論文認定者数及びゼミ単位修得者数から、学修の達成度の状況を点検・評価し、各々のカリキュラム、教育内容の見直しに活用する。
		⑦-3-A	卒業率	マクロ	執行部、教務部	卒業時 (4年次)	年1回	学修の達成度	在籍者数に対する卒業生の割合及び実施組織の点検・評価結果から、学修の達成度の状況を点検・評価し、教育に関する各種方針・施策の見直しに活用する。
		⑦-3-B	卒業率	ミドル	各学部・学環、 全学共通教育センター	卒業時 (4年次)	年1回	学修の達成度	実施組織における在籍者数に対する卒業生の割合から、学修の達成度の状況を点検・評価し、各々のカリキュラム、教育内容の見直しに活用する。
		⑦-4-A	成績分布	マクロ	執行部、教務部	卒業時 (4年次)	年1回	学修成果の質的レベル	卒業生の成績分布の状況及び実施組織の点検・評価結果から、学修成果の質的レベルを点検・評価し、教育に関する各種方針の見直しに活用する。
		⑦-4-B	成績分布	ミドル	各学部・学環、 全学共通教育センター	卒業時 (4年次)	年1回	学修成果の質的レベル	実施組織における卒業生の成績分布の状況から、学修成果の質的レベルを点検・評価し、各々のカリキュラム、教育内容の見直しに活用する。
		⑦-5-A	卒業時アンケート（成長した力）	マクロ	執行部、教務部、 学生支援機構、学長室	卒業時 (4年次)	年1回	学修・学生生活による成長度	卒業時アンケート（成長した力）による卒業生の成長実感の状況及び実施組織の点検・評価結果から、学修及び学生生活による学生の成長度を点検・評価し、正課教育・正課外教育に関する方針・施策の見直しに活用する。
		⑦-5-B	卒業時アンケート（成長した力）	ミドル	各学部・学環、 全学共通教育センター	卒業時 (4年次)	年1回	学修・学生生活による成長度	実施組織における卒業時アンケート（成長した力）による卒業生の成長実感の状況から、学修及び学生生活による学生の成長度を点検・評価し、各々のカリキュラム、教育内容の見直しに活用する。
		⑦-6-A	全国学生調査（成長実感）	マクロ	執行部、教務部、 学生支援機構、学長室	卒業時 (4年次)	年1回	学修・学生生活による成長度	全国学生調査による卒業生の成長実感の状況から、学修及び学生生活による学生の成長度を点検・評価し、正課教育・正課外教育に関する方針・施策の見直しに活用する。
		⑦-7-A	資格取得者数	マクロ	執行部、資格教育担当組織	卒業時 (4年次)	年1回	資格教育の活性化・適切性	卒業生の資格取得者数又は所定科目の単位修得者数から、資格教育の活性化及び適切性を点検・評価し、資格教育に関する方針・施策の見直しに活用する。
		⑦-8-A	副専攻登録者数・修了者数	マクロ	執行部、全学教育推進機構	卒業時 (4年次)	年1回	副専攻制度の活性化・適切性	卒業生の副専攻登録者数及び修了者数から、副専攻制度の活性化及び適切性を点検・評価し、副専攻制度に関する方針・施策の見直しに活用する。
		⑦-9-A	ディプロマ・サブメントの記載事項数	マクロ	執行部、学長室、 教育学習支援センター	卒業時 (4年次)	年1回	正課外教育の活性化	卒業生の正課外教育に関するディプロマ・サブメント記載事項数から、正課外教育の活性化を点検・評価し、正課外教育に関する方針・施策の見直しに活用する。
		⑦-10-A	KONANサーティフィケート認定者数	マクロ	執行部、教育学習支援センター	卒業時 (4年次)	年1回	KONANサーティフィケート制度 及び正課外教育の活性化・適切性	卒業生のKONANサーティフィケート認定者数及び実施組織の点検・評価結果から、KONANサーティフィケート制度及び正課外教育の活性化及び適切性を点検・評価し、KONANサーティフィケート制度及び正課外教育に関する方針・施策の見直しに活用する。
	⑦-10-B	KONANサーティフィケート認定者数	ミドル	KONANサーティフィケート 各分野担当組織	卒業時 (4年次)	年1回	KONANサーティフィケート制度 の活性化・適切性	実施組織担当分野における卒業生のKONANサーティフィケート認定者数から、KONANサーティフィケート制度の活性化及び適切性を点検・評価し、各々のKONANサーティフィケート制度に関する基準・内容等の見直しに活用する。	
	⑦-11-A	教学アドバイザー・ボードの評価・意見	マクロ	執行部	-	年2回	教育基本方針・DPの適合性	教学アドバイザー・ボードの評価・意見から、本学の教育活動に関する教育基本方針・DPの適合性を点検・評価し、教育活動に関する各種方針・施策の見直しに活用する。	
	⑧卒業生の満足状況確認 (学生が学びや学生生活に満足しているか)	⑧-1-A	卒業時アンケート（総合・各種満足度）	マクロ	執行部、学生生活支援センター、 キャリアセンター、管財部	卒業時 (4年次)	年1回	教育・学生生活の満足状況	卒業時アンケートによる卒業生の総合・各種満足度及び実施組織の点検・評価結果から、教育・学生生活の満足状況を点検・評価し、教育に関する各種方針及び教育・学生生活環境の見直しに活用する。
		⑧-1-B	卒業時アンケート（各種満足度）	ミドル	各学部・学環、全学共通教育センター	卒業時 (4年次)	年1回	教育の満足状況	実施組織における卒業時アンケートによる卒業生の各種満足度から、教育の満足状況を点検・評価し、各々のカリキュラム、教育内容の見直しに活用する。
	⑨卒業後の進路状況確認 〔学生が卒業後の進路を得られているか 卒業後に学修成果を発揮できているか〕	⑨-1-A	実就職率	マクロ	執行部、全学共通教育センター、 キャリアセンター	卒業時 (4年次)	年1回	卒業後の進路状況・学修成果の 発揮度	卒業生の実就職率（大学院進学者を除いた卒業生に対する就職者の割合、以下同じ）の状況及び実施組織の点検・評価結果から、卒業後の進路状況及び学修成果の発揮度を点検・評価し、教育、キャリア教育・支援に関する方針・施策の見直しに活用する。
		⑨-1-B	実就職率	ミドル	各学部・学環	卒業時 (4年次)	年1回	卒業後の進路状況・学修成果の 発揮度	実施組織における卒業生の実就職率の状況から、卒業後の進路状況及び学修成果の発揮度を点検・評価し、各々のカリキュラム、教育内容の見直しに活用する。
		⑨-2-A	大学院進学率	マクロ	執行部、キャリアセンター	卒業時 (4年次)	年1回	大学院進学状況及び学修成果の 発揮度	卒業生に対する大学院進学者の割合及び実施組織の点検・評価結果から、大学院進学状況及び学修成果の発揮度を点検・評価し、教育に関する各種方針・施策の見直しに活用する。
		⑨-2-B	大学院進学率	ミドル	各学部・学環	卒業時 (4年次)	年1回	大学院進学状況及び学修成果の 発揮度	実施組織における卒業生に対する大学院進学者の割合から、大学院進学状況及び学修成果の発揮度を点検・評価し、各々のカリキュラム、教育内容の見直しに活用する。
		⑨-3-A	卒業生調査	マクロ	執行部、全学共通教育センター、 キャリアセンター	卒業後	年1回	卒業後の状況・学修成果の発揮度	卒業生調査結果（卒業後5年目・10年目・15年目の卒業生を対象）から、卒業後の状況及び学修成果の発揮度を点検・評価し、教育、キャリア教育・支援に関する方針・施策の見直しに活用する。
		⑨-4-A	企業アンケート	マクロ	執行部、全学共通教育センター、 キャリアセンター	-	年1回	採用時に重視する能力・資質	企業アンケート結果から、採用時に重視する能力・資質と在籍する卒業生の能力・資質の状況を点検・評価し、教育、キャリア教育・支援に関する方針・施策の見直しに活用する。